

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 3 日

事務事業名		コミュニティバス運行事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050401001014
						単独/補助	補助		060201
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	都市整備課
総合計画の施策名		0504 公共交通の充実						課長名	
政策名		05 快適な暮らしのまちづくり						グループ	都市政策G
施策名		04 公共交通の充実						担当者名	
手段名		01 ①公共交通網の整備							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	08	04	01	07	00	単年度繰返し (平成28年度~)		
法令根拠		道路運送法				公共交通安全事業			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>本市では市民の移動手段として自動車利用が大半を占めている。そのような中、高校生や高齢者などの交通弱者について、通学や通院を目的に、JR水戸線を利用した市外への移動やつくば市への移動の需要がある。</p> <p>このような状況を踏まえて、つくば市の「筑波山口」からJR水戸線岩瀬駅までの南北を結ぶコミュニティバスを運行している。また、平成30年10月より「さくらがわ地域医療センター」が開院したのに伴い、通勤通学時間を除いた運行を「地域医療センター」経由として通院に対応し、バスの利便性向上を図っている。</p> <p>また、令和2年4月から桜川市バスが走っていないエリアをカバーする形で、市民の買い物や通院の足として桜川市内巡回ワゴンの運行を開始したが、本格運行の目標人数に満たなかったため、令和5年9月で運行を終了した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 利用実績やアンケート等により、バス等の利用状況を把握する。 日常の運行に対する問い合わせや要望を受ける。 利用状況や要望を踏まえて関係各所と調整の上、公共交通会議を経て運行方法を見直す。 運行内容(ルート、ダイヤ)について、チラシや広報紙、ホームページなどでお知らせする。 市役所での定期券発券の取りまとめや運行委託料の支払いを行う。 バス運行に対する国・県の補助金を受ける手続きを行う。 最新の情報を把握するため、国や県が実施する研修会などに参加する。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 利用状況把握。 問い合わせや要望受付。 公共交通会議開催など運行方法見直しして続き。 チラシや広報紙などによる情報発信。 定期券発券取りまとめ、運行委託料支払い。 国・県の補助金手続き。 	市内説明回数 (地区意見交換、高齢者、民生委員等)	回	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00
	広報紙掲載 (利用者数)	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
・市民	人口	人	37,653.00	36,794.00	36,647.00	36,500.00	35,897.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
・桜川市バスや桜川市内巡回ワゴンの利用者数を増やす。	桜川市バス (筑波・岩瀬間) の1便当たり利用者数	人	8.90	8.50	9.00	9.20	9.50
	桜川市バス (筑波・岩瀬間) の収支率	%	22.51	19.82	23.00	23.00	23.00
	桜川市内巡回ワゴンの1便当たり利用者数		0.30	0.32	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	9,794	8,194	6,694		期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	57,607	47,894	52,076		
			事業費計 (A)	千円	67,401	56,088	58,770		
		正規職員従事人数	人	4.00人	3.00人	3.00人			

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)			06年度事業費 予算 (千円)		
	12 委託料	56,088		12 委託料	58,770	
	合計	56,088		合計	58,770	

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
	複合施設の開設と学校統合を控えているため、バスルートの検討やダイヤ改正を行う。関係機関および運行事業者と連絡を取り合って、円滑にバス事業を行えるようにする。	関係機関および運行事業者と連絡を取り合って、円滑にバス事業を行えるようにする	関係機関および運行事業者と連絡を取り合って、円滑にバス事業を行えるようにする

事務事業名	コミュニティバス運行事業	事務事業No.	50401001014	所属課	都市整備課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
エリア運行のデマンドタクシーのみであった当市の公共交通に対し、市民から定時定路線のバス運行要望があり、平成28年10月より地方創生の交付金を活用して本事業を開始した。また、令和2年4月から3年間の実証実験運行として市内巡回ワゴンが運行を開始した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
桜川市バス路線の沿線地区から追加のバス停設置や一部ルートの見直しなどの要望が寄せられている。また、沿線地区以外でも同様の交通機関運行の要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 公共交通の充実に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 民間での運営は採算面から困難である一方、市民の移動の確保は日常生活の基礎となるものであることから、地方の公共交通はインフラの一つとして捉え、市が関与することが妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 桜川市バス運行ルートやダイヤの見直しにより利便性の向上を図るほか、福祉部局や観光部局とのタイアップにより、更に利用者数を増やせる余地がある。また、桜川市内巡回ワゴンについては、導入後の見直し余地が大きい。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 現在、小学生や高校生をはじめ、多くの市民の日常の足となるものであり、廃止・休止の影響は大きい。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業は無い。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 利用者数を増やし、収支率を高めることにより、実質の事業費を削減できる余地がある。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 利用はクルマで移動できない交通弱者である学生や高齢者が多くを占めているが、弱者救済の観点から公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	桜川市バスについては、新型コロナウイルス感染症に影響が少なくなり、利用者が戻りつつある状況にあるため、公共交通計画に定めた目標値(1便平均:80人、収支率:25%)を超えるよう、周知活動等を行う。市内巡回ワゴンについては、利用者数が少ないため、令和5年度を持って休止をし、事業の再編を行う。																							
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ヤマザクラGOをさらに活用してもらえるように、SNSなどで情報発信を行っていくことで利用者数の増加を図る。		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			X		低下			X
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持			X																					
	低下			X																					
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ②																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>